

令和3年度第1回静岡県入札監視委員会議事概要

- 1 開催日時及び場所 令和3年7月2日(金)13時30分～16時
県庁別館20階第1会議室A

- 2 出席者 委員長 田中博通 (東海大学海洋学部名誉教授)
委員長代理 岩崎敏之 (静岡文化芸術大学デザイン学部教授)
委員 片山恵畏子 (株式会社山清片山代表取締役)
一杉泰博 (弁護士)
山下繁子 (しずおか市消費者協会会員)
山田夏子 (公認会計士)

県説明員等 和田交通基盤部長、勝又交通基盤部理事、青野交通基盤部理事
事務局 名雪建設経済局長、野毛建設業課長、良知技術調査課長 等

3 議事概要

(1) 入札・契約手続の運用状況の報告

令和2年10月1日～令和3年3月31日に県が発注した工事の入札・契約手続の運用状況等について、県から報告を受け、質疑を行った。

(2) 抽出事案に関する説明及び審議

委員が抽出した下記の5事案について、県から経過等の説明を受け、質疑を行った。(主な質疑は、別紙のとおり。)

(抽出事案)

- ・ 令和2年度 [第32-D4600-01号] (一) 富士由比線橋梁改築工事 (新々富士川橋・上部工2工区)
- ・ 令和2年度 [第32-C5462-01号] (都) 袋井駅森線ほか街路整備工事 (舗装工)
- ・ 令和2年度 [第32-Z5103-01号] 沼津工業高等学校普通教室棟解体他工事
- ・ ぐみ沢IC (御殿場市) 他交通信号機新設工事
- ・ 令和2年度 [第31-K2378-01号] 二級河川枋山川ほか特定構造物改築工事 (枋山川水門ほか無線設備更新工)

(3) 審議の結果

抽出事案に係る入札及び契約手続きについて、意見の具申及び勧告はなかった。

質 疑	応 答
<p>① 令和2年度 [第32-D4600-01号] (一) 富士由比線橋梁改築工事 (新々富士川橋・上部工2工区) [交通基盤部富士土木事務所]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、各入札参加者同士の金額が微々たる差であり、そこに技術評価点加わって差が開いているということだが、金額の差があまりない場合、技術評価点の高い方が落札するということがあるのか。 ・大規模な工事の入札の際に、見積りを取るというのは業者側にかなりのコストがかかっているのではないか。 ・最初に技術提案の評価の点数をつけるのは何人なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は、技術評価点も入札価格も落札した業者の順位が高かったが、その他の業者の技術点が高くなった場合、逆転するケースはあり得る。 ・今回の工事は、量的にはかなり多いが、鋼構造物工事として各社同じような工事を行っている。また県でも入札結果等を公表しているため、参考となる事例は多くあったと考えている。 ・当事務所の工事課の課長、担当班の班長、担当者の3人でまず素案を作る。その後、事務所内で開催する資格委員会の中に幹事会というものを設け、そこで技術職の課長以上の職員が集まって点数をつける。
<p>② 令和2年度 [第32-C5462-01号] (都) 袋井駅森線ほか街路整備工事 (舗装工) [交通基盤部袋井土木事務所]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の工事は、シンプルで割と頻繁にある工事だと考えたが、その場合業者を選定するのは、どのようなことが検討対象となるのか。 ・落札業者と落札業者ではない業者とで、まったく同じ単価のものがあるが、今回の工事は見積りがしやすいものだったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実績または成績、過去の技術者の確保状況等が、検討対象となる。 ・基本的に、県で単価を公表しているため、予定価格を算出しやすい。

質 疑	応 答
<p>③ 令和2年度〔第32-Z5103-01号〕沼津工業高等学校普通教室棟解体他工事 〔教育委員会教育施設課〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工事はなぜ、こんなにも落札率が低いのか。 ・廃材の処理はどのようになっているのか。 ・今回、落札率がとても低いが、もともとの基準額はどのように決めているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の解体工事では、沼津市内に処分場を有している業者を処分先として選定しており、処分場が近くにあることで運搬費等の経費削減につながったのではないかと考える。 ・産業廃棄物の処理については、施工者から契約前に建設リサイクル法に基づく説明書や関係書類、契約後に総合施工計画書、再生資源利用計画書、産廃処分に係る実地確認記録等を提出してもらい、産廃処理計画を確認する。また、施工中、施工後には、排出事業者が排出する産業廃棄物の種類ごとに、収集運搬から中間処理、最終処分まで適切に処理されているか確認している。 ・価格については、入札価格調査制度による調査等実施要領に基づいて定められた方法により算定している。
<p>④ ぐみ沢IC（御殿場市）他交通信号機新設工事 〔警察本部施設課〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工事は信号機の設置工事だが、藤枝市の下当間東でも信号機の設置工事が発注されている。同じような工事かと思うが、金額に300万弱の差があるのはなぜか。 ・信号機のメンテナンスをする際には、設置した業者とは関係なく、地域ごとにメンテナンス業者がいるのか。それは別途入札をするのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・信号機の種類や設置場所の条件等で金額に差が生じるが、今回の工事では数量の違いによって生じる金額の差だと考える。本件の御殿場の工事は、2か所の交差点に2セットの信号機を新設するというもの。対して、藤枝の工事は1か所の交差点に1セットの信号機を新設する。 ・メンテナンスの際には、設置した業者は関係ない。県内を11ブロックに分割し、それぞれ年間の保守委託契約として一般競争入札を実施する。

質 疑	応 答
<p>⑤ 令和2年度 [第31-K2378-01号] 二級河川栃山川ほか特定構造物改築工事（栃山川水門ほか無線設備更新工） [交通基盤部島田土木事務所]</p> <ul style="list-style-type: none"> 見込み対象業者が15者いる中で、応札は1者しかしていない。他の業者が参加できなかった要因等があったのか。 今回、4つの水門の無線設備をまとめて発注しているのは、制御をやりやすくするためか。 	<ul style="list-style-type: none"> 入札に参加するか否かは、各社のそのときの手持ち工事量や技術者の配置状況等を勘案して決まってくると考える。総務省の設備規則の改正により、この時期に他の地方公共団体も同様の工事を多数発注しているため本件の応札者が1者にとどまったのではないかと推測している。 もともと4つの水門は一連のシステムで稼働しているため、まとめて発注している。